

はじめに

この冊子は、認知症の予防段階から認知症の症状に合わせて利用できる相談先や制度・サービスをまとめたものです。御覧いただき、御相談やお問合せがあれば、気軽に御連絡ください。

※兵庫県では、認知症の方を地域全体で支えるネットワークづくりを重視し、国が使っている「認知症ケアパス」という名称ではなく「認知症ケアネット」と呼んでいます。

1 認知症を正しく理解しましょう

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死滅したり、働きが悪くなったために記憶障害や理解・判断力などが低下し、日常生活に支障が出ている状態のことをいいます。

認知症の原因となる病気はいくつかありますが、だれでもなる可能性のある脳の病気です。

認知症に対する理解を深め、認知症の方と家族が安心して暮らし続けることができる地域をつくるのが大切です。



2 認知症の種類と症状

認知症は、原因となる病気などによって、それぞれに特徴が異なります。主な認知症の種類と特徴は、次のとおりです。

認知症の種類	原因	症状	特徴
アルツハイマー型認知症	脳内に発生した異常なたんぱく質が原因で脳の細胞が徐々に減少し、脳が委縮していく病気	・同じ質問を何度も聞く。 ・家事などの段取りが悪くなる。 ・日にちが分からなくなる。 ・約束を忘れる。	ゆるやかに発症し、徐々に進行する。
脳血管性認知症	脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患がもととなり、脳の細胞の働きが低下・死滅することで発症	・意欲が低下する。 ・物忘れがあるわりにはしっかりしている時もある。 ・手足の麻痺がある。	急性で、再発のたびに段階的に悪化する。
レビー小体型認知症	脳内に「レビー小体」という異常なたんぱく質が蓄積されることで、脳の細胞が死滅して発症	・こどもや虫などが見えると言う。 ・夢を見て反応し、大声を出す。 ・物忘れは目立ちにくい。	初期には症状に波があり、徐々に進行する。
前頭側頭型認知症	前頭葉や側頭葉に限定して脳の細胞が徐々に死滅していくことで発症	・同じ時間に同じ行動を繰り返す。 ・同じ食べ物を異常に食べる。 ・ルールを無視して自分の思うままに行動する。	<u>若年性認知症</u> ※1の中では、アルツハイマー型認知症に次いで多い。



※1 若年性認知症（65歳未満で発症する認知症の総称です。）

若いので認知症ではないだろうという判断により、診断までに時間がかかります。うつ病などの精神的な病気と診断されることも少なくありません。

こんな症状はありませんか。・・・書類の整理が難しくなってきた。

家事に時間がかかる。

待ち合わせの約束をしたことを忘れる。 など

